

# みちのくの民俗芸能に 人々の願いをみる



## 出演団体プロフィール

### 1. 目黒流貫井囃子保存会 (小金井市)

戦後一時途絶えていたが、昭和45年に前会長大澤敏夫氏を中心に復活。東京祭り囃子コンクールでは第1回から連続15回の最優秀賞を受賞する。

### 2. 東京七頭舞研究会 (事務局 千葉県松戸市)

関東で七頭舞を愛する人達のサークルは10を超える。岩手県岩泉町小本の中野七頭舞保存会に学び活動。今回、それぞれのサークルを越えて集まった総勢20人が舞う。

### 3. 東京学芸大学和太鼓サークル『結』 (小金井市)

日本各地に伝わるお囃子や民俗舞踊などを、学芸大学だけでなく他大学に在学する者や留学生の仲間と共に芸能の地元の方とも関わりを持ち、演目への熱い思いを持って活動している。

### 4. 西多摩民俗舞踊の会 (あきる野市)

毎月原則として第一月曜日と第三土曜日に、あきる野市内で稽古。5月に民俗舞踊と篠笛のつどいで『西馬音内盆踊り』、10月にあきる野市横沢入りの田んぼの収穫祭に、『越中おわら節』を踊る。

### 5. せんぬき 栓貫 (八王子市)

八王子市内に働く保育士によって結成された民舞サークル。依頼を受ければ、『三本柳さんさ踊り』『エイサー』などをもって他の施設などでも公演する。

### 6. 民族舞踊教育研究会 (事務局 世田谷区 和光小学校)

中学校・高校の体育教師達が、創作ダンスの指導に悩み、子ども達が生き生きと取り組める舞踊教材はないものかと研究する中で、各地の祭りや伝統行事で踊られている民舞の価値に気付く。アイヌ古踊りから沖縄エイサーまで数多く教材化している中から、宮城県石巻市桃生町の『はねこ踊り』を舞う。

### 7. 神楽の杜 (埼玉県入間市)

埼玉県入間市・飯能市を拠点にして、岩手県・宮城県に伝承される『南部神楽』に取り組み、奥州市衣川大森神楽保存会に学ぶ。学生から社会人まで職業も様々な15人ほどで活動している。

### 8. なげた 長下田神楽保存会 (宮城県登米市石越町)

日本中に神楽が伝えられているが、宮城県北・岩手県南地方では、幕末頃山伏神楽の影響を受けながら、農民達によって創り上げられた。源平合戦・仏教説話等を民謡調の台詞廻しで展開するもので、台詞神楽などとも呼ばれ、近年『南部神楽』と称されている。当地方百組余を数える神楽組の中で、優勝幕を幾枚も持つ創立64年の神楽会。数ある演目の中から、源義経一代記より『金売り吉次三兄弟 鏡ヶ宿の場』を演ずる。